化学物質等安全データシート(MSDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	:UVink LF-200 Black
製品コード	:SPC-0558K-5,SPC-0591K-5,SPC-0660K-5
会社名	:株式会社ミマキエンジニアリング
住所	:長野県東御市滋野乙2182-3
担当部門	:IM事業部
担当者名	:田林 勲
メールアドレス	:ink@mimaki.jp
電話番号	:0268-64-2413
FAX番号	:0268-64-5580
緊急時の電話番号	:0268-64-2281
	:(財)日本中毒情報センター 中毒110番
	＊一般市民専用電話
	(大阪)072-727-2499 365日 24時間対応
(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合)	(つくば)029-852-9999 365日 9～21時対応
	＊医療機関専用電話
	(大阪)072-726-9923 365日 24時間対応
	(つくば)029-851-9999 365日 9～21時対応
推奨用途及び使用上の制限	:UV硬化型インク、インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

〔GHS分類〕

物理化学的危険性	
引火性液体	:区分外
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	:区分外
急性毒性(経皮)	:区分外
急性毒性(吸入:ガス)	:区分外
急性毒性(吸入:蒸気)	:区分外
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分2
呼吸器感作性	:区分外
皮膚感作性	:区分1
生殖細胞変異原性	:区分外
発がん性	:区分2
生殖毒性	:区分外
授乳に対する影響	:区分外
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	:区分外
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	:区分1
吸引性呼吸器有害性	:分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性(急性)	:区分1
水生環境有害性(慢性)	:区分3

上記で記載が無いものは、分類できない、分類対象外

化学物質等安全データシート(MSDS)

〔GHSラベル要素〕

絵表示

注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H351 発がんのおそれの疑い
H372 長期または反復暴露による臓器の障害
H400 水生生物に非常に強い毒性
P412 長期的影響により水生生物に有害

注意書

[安全対策]
P264 取扱後は手、眼をよく洗うこと。
P280 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P260 ガス/ミストを吸入しないこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P273 環境への放出を避けること。
[応急措置]
P321 特別な処置が必要である。(4.応急措置要参照)
P302+P352 皮膚についた場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
P308+P313 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。
P314 気分が悪い時は医師の診断/手当を受けること。
P391 漏出物を回収すること。
[廃棄]
P501 内容、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

〔その他の危険有害性〕

・高温になると引火、燃焼する恐れがある。
・眼、皮膚、気道を刺激する恐れがある。
・重篤な眼への刺激。
・皮膚に接触するとアレルギー性皮膚反応を起こすことがある。
・発がんのおそれの疑いがある。
・長期または反復暴露による臓器の障害がおこる。

化学物質等安全データシート(MSDS)

・水生生物に非常に強い毒性。
・長期的影響により水生生物に有害である。
・可燃性があるので、火気に注意する。
・密閉した容器を火炎にさらすと、内部の圧力が高くなり、爆発の可能性がある。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分　　:混合物
成分及び含有量

成分名	含有量〔%〕	官報整理番号	CAS No.	備考
イソボルニルアクリレート	40-50	化審法番号:(4)-1552	5888-33-5	
アミン変性アクリル酸オリゴマー	10-20	化審法番号:営業秘密	営業秘密	
アクリル酸2－(2－エトキシエトキシ)エチル	5.0-15	化審法番号:(2)-3106	7328-17-8	
テトラヒドロフルフリルアクリレート	5.0-15	化審法番号:(5)-57	2399-48-6	
ジフェニル－2, 4, 6－トリメチルベンゾイルホスフィン＝オキシド	1.0-10	化審法番号:(3)-4078	75980-60-8	化審法 第2種監視化学物質相当通し番号: 62
1, 6－ヘキサンジオールジアクリレート	1.35	化審法番号:(2)-1007 PRTR政令番号: 第1種 306	13048-33-4	
2, 4－ジエチルチオキサンテン－9－オン	1.0-10	化審法番号:(5)-5645	82799-44-8	
置換トリアジン	1.0-10	化審法番号:営業秘密	営業秘密	
2－フェノキシエチル＝アクリラート	< 5.0	化審法番号:(3)-3684	48145-04-6	
カーボンブラック	1.0-5.0	化審法番号:(5)-5222、(5)-3328 安衛法通知政令番号: 130	1333-86-4	

成分に関する特記事項:本品の成分はTSCAに適合している。
その他の情報が必要な場合は当社に問い合わせてください。

4. 応急措置

吸入した場合
・気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気

化学物質等安全データシート(MSDS)

分が悪い時には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合
・付着物を布にて素早く拭き取る。
・大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
・汚染された衣類をとりのぞくこと。
目に入った場合
・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
・まぶたの裏まで完全に洗うこと。
・直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合
・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
・嘔吐物は飲み込ませないこと。
・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護
・適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。
・換気を行う。

5. 火災時の措置

消化剤
・炭酸ガス、泡、粉末、設備的に可能であれば水噴霧も可。
使ってはならない消化剤
・水(棒状水、高圧水)
特有の消火方法、消火を行う者の保護
・適切な保護具(耐熱性着衣、自給式呼吸器等)を着用する。
・可燃性のものを周囲から取り除く。
・指定の消化剤を使用すること。
・高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
・消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
環境に対する注意事項
・河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材
・漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。
・衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

化学物質等安全データシート(MSDS)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
・換気の良い場所で取り扱う。
・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
・作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
・工具は火花防止型のものを使用する。
・皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入ったりしないよう保護具を着用する。
・過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。
・取扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
保管
・日光の直射を避ける
・通風の良いところに保管する。
・火気、熱源から遠ざけて保管する。
・食品や医薬品から離して貯蔵する。
・酸化剤から離して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

〔管理濃度、許容濃度〕

成分名	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度ACGIH(TLV) 出展先
イソボルニルアクリレート (5888-33-5)	設定されていない	日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない ACGIH-TWA: 設定されていない
アミン変性アクリル酸オリゴマー (営業秘密)	設定されていない	日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない ACGIH-TWA: 設定されていない
アクリル酸2－(2－エトキシエトキシ)エチル(7328-17-8)	設定されていない	日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない ACGIH-TWA: 設定されていない
テトラヒドロフルフリルアクリレート (2399-48-6)	設定されていない	日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない ACGIH-TWA: 設定されていない 3M社 許容濃度 TWA: 0.1 ppm 皮膚感作物質 3M社 許容濃度 STEL: 0.3 ppm 皮膚感作物質
ジフェニル－2，4，6－トリメチルベンゾイルホスフィン＝オキシド (75980-60-8)	設定されていない	日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない ACGIH-TWA: 設定されていない
1，6－ヘキサンジオールジアクリレート(13048-33-4)	設定されていない	日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない ACGIH-TWA: 設定されていない
2，4－ジエチルチオキサンテン－9－オン(82799-44-8)	設定されていない	日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない ACGIH-TWA: 設定されていない

化学物質等安全データシート(MSDS)

置換トリアジン(営業秘密)	設定されていない	日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない ACGIH-TWA: 設定されていない
2ーフェノキシエチル＝アクリラート(48145-04-6)	設定されていない	日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない ACGIH-TWA: 設定されていない
カーボンブラック(1333-86-4)	数値: 2.9 mg/m3	日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 吸入性粉塵 1 mg/m3 総粉塵 4 mg/m3 ACGIH-TWA: 3.5 mg/m3

〔設備対策〕

・屋内作業の場合、作業者が直接暴露されない設備とするか、全体換気装置または、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

〔保護具〕

呼吸器の保護具

・作業を行う場合には、適切な保護マスク(汚染物質の空気中濃度及び法規制に基づいて次の検定済みの防毒マスクの1つを選択すること。有機溶剤用吸収缶付きの半面又は全面防毒マスク)を着用すること。

手の保護具

・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋(ニトリルゴム製)を着用すること。

目の保護具

・取り扱いにはサイドシールド付きの安全眼鏡、通気性ゴーグルを単独又は組み合わせで着用すること。

皮膚及び身体の保護

・取り扱う場合には、皮膚を直接曝露されないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

性状(状態、色)	:黒色液体
臭い	:アクリル臭
沸点(初留点及び沸騰範囲)	:>93.33℃
引火点	:>93.33℃(密閉式)
蒸気圧	:<1333Pa(20℃)
蒸気密度	:>1
比重(密度)	:1.04(水＝1)
溶解度	:水に対する溶解性;微量

10. 安定性及び反応性

安定性(危険有害反応可能性)

・危険な重合が起こることがある。安定。

避けるべき条件

・熱

混触危険物質

・強酸化剤

化学物質等安全データシート(MSDS)

危険有害な分解生成物
・一酸化炭素(燃焼中)
・二酸化炭素(燃焼中)

11. 有害性情報

目に入った場合:
中程度の目の刺激:症状は発赤、腫脹、痛み、催涙、目のかすみを含むことがある。

皮膚に付着した場合:
中程度の皮膚刺激:症状は発赤、腫脹、かゆみ、乾燥を含むことがある。アレルギー性皮膚反応を起こす可能性がある(症状は発赤、腫脹、水疱形成、かゆみを含むことがある)。長時間又は反復暴露した場合: 皮膚に発赤、かゆみ、吹き出物、腫れ物の症状を呈することがある。

吸入した場合:
気道刺激:症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みを含むことがある。

飲み込んだ場合:
胃腸管組織が刺激される可能性がある(症状は腹痛、むかつき、吐き気、嘔吐、下痢を含むことがある)。

発がん性:
警告:がんを引き起す可能性がある物質を含有する;カーボンブラック(1333-86-4)
(IARC の 2B、人に対して発がんの可能性がある物質)

生殖毒性:
先天性異常又は生殖障害を起こす恐れのある化学物質を含有する。

12. 環境影響情報

一般注意事項
・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
生態毒性
・未評価

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
・廃インク、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
・容器、機器装置を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
汚染容器及び包装
・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

化学物質等安全データシート(MSDS)

14. 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国連番号 (UN No.) :3082
国連輸送名 (Proper Shipping Name) :環境有害物質(液体)
クラス (Class) :9
容器等級 (Packing Group) :Ⅲ

〔国内規制〕

陸上規制情報 :消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上規制情報 :船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空規制情報 :航空法の定めるところに従うこと。

〔国際規制〕

海上規制情報 :IMO/IMDG の規定に従うこと。
航空規制情報 :ICAO/IATA の規定に従うこと。

15. 適用法令

消防法 :危険物第4類第3石油類　危険物等級Ⅲ(非水溶性)
船舶安全法 :有害性物質
労働安全衛生法 :施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物
(カーボンブラック CAS No.1333-86-4)
PRTR法 :第1種指定化学物質
(1,6ーヘキサンジオールジアクリレート CAS No.13048-33-4)

16. その他の情報

参考文献
国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

改訂履歴

Ver.	日付	項目No.	内容
1.0	2011/05/06		作成
2.0	2011/09/06	15	誤記修正
3.0	2011/09/08	2	GHS区分修正